

ハルムスタッド大学 (スウェーデン)

(1) はじめに

スウェーデンでの生活には十分に慣れ、基本的には代り映えのない日々を送っています。現在は日の出が午前8時過ぎ、日の入りが午後3時半頃で、日照時間が短くなっていることをひしひしと感じています。特に予定が無ければ日が沈むころには寮に帰るようにしているため、必然的に部屋の中で過ごす時間が増えています。また、先日ついに雪が降るなど、スウェーデンの冬を実感しております。

(2) スウェーデンあるあるレポ！その1

「公共トイレは基本ジェンダーフリー」

スウェーデンの公共トイレはほとんどがジェンダーフリーです。個室は日本のように簡単な壁で仕切られているだけではなく、それぞれの重たいドアの向こうには手洗い場と鏡と手を拭くペーパーまで備わった「完全個室トイレ」が存在しています。

また複数ある個室のうち最低一つはいわゆる多目的トイレで、車いすや子連れの方が利用しやすい広めの作りになっています。時々男女別になっている場合もありますが、個室自体の作りは同じです。このように、ほぼ全ての公共トイレがジェンダーフリーであることがスウェーデンでは当たり前のようです。衛生面も優れており、全員が等しく快適に利用できる大変素晴らしいトイレ文化です。



「果物や野菜をスナックとして食べる」

スウェーデンのコンビニチェーン「Pressbyrån」にはフルーツを売っているコーナーがあります。バナナ、りんご、梨のように手軽にかじりつける果物がスナックとしてコンビニに並んでおり、多くの人々が当たり前のように手に取っている姿は新鮮です。また、マクドナルドではサイドメニューの選択肢としてフライドポテト以外に、りんご、みかん、そしてなんとニンジンがありました。気になったので注文の際ニンジンを選択してみたのですが、味は完全に「生のニンジン」でした。(そのまま食べるのには少し苦手だったので、持ち帰ってスープの具材として調理しました。) このように果物や野菜がスナックの選択肢に果物や野菜があるのは、加工食品ばかり消費する現代においてとても健康的な文化だと思います。

高麗大学校 (韓国)

今月中旬に高麗大学生向けに自分の大学を紹介するインターナショナルデイがありました。グローバル推進室の方から送ってもらった資料をもとにボードを作成してブースに来てくれた学生に横市に関する説明をしました。韓国語で説明をしたり、ボードにも韓国語を書いたりして、韓国人学生の方に分かりやすくてよかったのではないかなと思います。来場者が多かった大学上位3位はご褒美があったのですが、残念ながら3位に入ることはできませんでした。ですがその分、1人1人の来場者の方に十分な説明を行うことができていたかなと思います。誰か1人でも私たちの説明を聞いて横市に行こうと思ってくださった方がいれらうれしいです。

ベネチア大学 (イタリア)

(1) はじめに

ベネチアでの生活にもだいぶ慣れ、また交友関係も広まってきました。ベネチアは小さく、留学生も多いため学生同士が繋がりがやすい環境にあります。特に日本人は授業や寮を通じて知り合う機会が多いため友達と友達が知り合いだったりします。授業の内容も難しくなってきたので、このような繋がりはとても大切になります。

(2) 履修内容

2nd Term はData Management と International Management の二つの授業をとっています。

Data Management

データ分析について学ぶ授業です。Pythonを使いデータベースやPandasの使い方も勉強します。Pythonはプログラミング言語の一つで、機械学習などに使われます。Pandasはライブラリの一つでPythonを使う手助けをしてくれます。授業は主にホワイトボードで進められます。遠い席だとボードは全く見えませんが、後で資料は配布してくれます。しかし .ipynb というファイルで配布されるため、初めは開くまでに苦労しました。第一週目には課題が出され、グループごとに別れて解きました。内容はPythonのコードについてで、課題の通りに実行できるようにプログラミングを書きます。Pythonは第一週目の課題ではprintやList など基礎的な事でしたが二度目の課題ではデータフレーム同士の集合を判断する、や38個のcsvファイルを読み込んで分析するというかなり本格的な内容になりました。課題の内容は授業では扱われていなかったのですがGoogleで調べながら進めますが二回目の課題は全く歯が立ちませんでした。1st TermではiPadでも平気でしたが、DataManagementではパソコンがあったほうが絶対に良いです。

International Management

この授業では海外で企業活動を行なっていく際に必要となることを学びます。例えば国ごとの特性の違いや、マーケティングについても学びます。授業は主にスライドで進められます。事前に資料を公開してくれるので、予習として目を通してから授業に参加します。時々発言をするチャンスがあり、発言は評価の対象になります。時々ケーススタディがあり、企業の事例と授業を元に先生の投げかけについて意見を言います。第一回目は、P&G Japan の事例から、SK-2は海外市場でも通用するか、などを聞かれました。議題と答えの方向性を把握し、自分の考えをまとめなければならないので初回は聞くので精一杯でした。日本の化粧水業界については知っているも、ヨーロッパなどについては知らなかったのでもうまく言葉をまとめられませんでした。次回はもっと深くまで予習し、一度でも発言できることを目標にしています。

ウィーバー州立大学 (アメリカ)

こちらの寮では、キッチンが設備されているのですが、鍵がかかっており寮の事務室にその都度訪れて鍵を借りなければいけません。しかし、寮の事務室は24時間人がいるわけではないので普段から使うのは難しい状況となっています。ほとんどの現地の学生は、各部屋に小さめの冷蔵庫と電子レンジを自分で購入して設置しています。また、12月中旬には学期末となり食堂も閉まってしまうので、私も冬休み中に寮内で食事出来るように電気ケトルを購入しました。12月中盤から1月の初週までは冬休みとなりますので、寮でずっと過ごす予定の方は早めにインスタント等の食糧を購入しておくと思えます。以前、大学内でおすすめの食事としてWildcat Roomを紹介しました。金曜日は授業がないので行っていませんでしたが、最近になって毎週金曜日にはミールプランを保持している人ならダイニングドルから2ドル追加することでいつもより豪華な食事が食べられることが分かりました。ライブキッチンシステムになっていて、ハムをハムブロックからスライスしてくれたり、アメリカでは定番のマカロニチーズを作ってくれたりします。追加料金はかかってしまいましたが、出来立ての料理を食べられて幸せな気分になれるので、ぜひ興味がある方は行ってみたいですね。